

ここが聞きたい

# 一般質問



## 一般質問とは？

議員が市の仕事全般について、市長などに報告を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。  
一般質問は各定例会の本会議で行われます。

今定例会の一般質問は、20人の議員が登壇し、行政運営について市長、教育委員長及び病院事業管理者の考えを質しました。

質問、答弁の要旨を掲載します。(文責は質問議員)

### 〔質問議員〕

- 1 廣野 富男（市民クラブ）…5
- 2 菊池 利美（新世会）…6
- 3 加藤 清（無会派）…6
- 4 千葉 敦（日本共産党）…7
- 5 飯坂 一也（公明党）…7
- 6 菅原 明（日本共産党）…8

- 7 阿部加代子（公明党）…8
- 8 藤田 慶則（奥和会）…9
- 9 及川 佐（奥和会）…9
- 10 高橋 政一（市民クラブ）…10
- 11 千葉 正文（奥和会）…10
- 12 及川 善男（日本共産党）…11
- 13 小野寺隆夫（奥和会）…11
- 14 菅原 圭子（新世会）…12

- 15 千葉 悟郎（市民クラブ）…12
- 16 鈴木 雅彦（奥和会）…13
- 17 渡辺 忠（奥和会）…13
- 18 佐藤 郁夫（市民クラブ）…14
- 19 佐藤 邦夫（市民クラブ）…14
- 20 今野 裕文（日本共産党）…15

**質問** 人口減少対策の一環である特定不妊治療助成と空き家バンクの現状と今後の対応は。

**市長** 体外受精や顕微授精を対象とした特定不妊治療は健康保険が適用されないことから、経済的負担を軽減するため、県助成に上乗せし最大20万円を支援。これまで128組を数え、出産ペースで5割を超えている状況。平成28年度から、男性の特定不妊治療に加え、人工授精など一般不妊治療の範囲拡大に向け検討している。

空き家バンクは、平成19年度に移住のキッカケとして設置。移住を希望する方にとって居住しやすい環境を作ってきた。その結果これまで106件が成約。平成26年度で廃止する予定であったが、策定中の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、移住者が地域で孤立しないよう移住希望から移住後まで、地域と関わりを持つ取り組みを検討することとした。



ひろの 富男 議員(市民クラブ)

## 不妊治療助成男性へ拡大

### TPP合意・影響大

**質問** 稲作農家への影響とグリーンリズム推進事業について市の対応を伺う。

**市長** 米については、輸入米の数量拡大により国内の米の流通量が増加。輸入量相当分を備蓄米として買い入れても再生産可能な米価格を維持できるか疑問。大規模作付化とはいかないにしても、稲作農家の所得安定のため複合型経営を推進する必要がある。地域事情にあった作物選定を進めたい。

グリーンツーリズム推進事業については、教育旅行受入れを通じ市の知名度向上等に貢献をいただいている。懸案事項である協議会の組織見直しや事務の簡素化、農家の負担などは、今後協議会と手を携え事業を進めたい。

なお、来年開催される岩手国体の成功に向け、速やかに不足する職員を確保し推進体制を強化するよう強く求めた。



いわて国体でも活躍が期待される  
地元岩谷堂高校内村教諭